



「議員活動の自己評価」!

平成22年分 (22年4月～23年3月)

□自己評価は次の指針により実施しています

平成17年分の議会活動から始めた議員の自己評価は、今回で6回目となります。議員自己評価は、10人中6人〔補欠選挙で当選した2人は除く〕(60%)の議員から提出がありました。右表のとおり5分野について具体的に取組んだ事項を3段階で自己評価したものです。

集計の結果、「取組の評価」については、項目全体の82項目中、「○ほぼ満足」は、46件で56%、「△努力が必要」は、31件で38%、「▲さらに努力が必要」は、5件で6%となりました。

次に、「結果の評価」については、項目全体の82項目中、「○ほぼ満足」は、26件で32%、「△努力が必要」は、33件で40%、「▲さらに努力が必要」は、23件で28%となりました。

取組の評価では「○ほぼ満足」が56%であるが、結果の評価では32%と大きく差がある。このことから、今後は各議員の取り組みが今まで以上に結果として反映されるように努力する必要がある。

主要指針	評価の指針等
1. 態度評価	町民の立場で発言・行動をしているか。議会での態度(居眠り、私語など)、審議の態度(品位の保持、審議への協力度)
2. 監視評価	一般質問、討論、質疑(発言)などで行政執行をチェックしたか。
3. 政策提言評価	町民の意向を政策に反映させるため、行政への提言一般質問、討論、質疑(発言)などで政策提言をしたか。
4. 政策実現評価	一般質問、討論、質疑(発言)などで指摘した事項が改善されたか。また、政策提言した事項が実現したか。
5. 自治活動・議会改革取組評価	議会報告をしているか。地域活動へ参加しているか。町づくりなどへの貢献度はどうか。町民ニーズを把握はどうか。

○議員別の評価集計

議員名	川村明雄		木村 隆		杉村志朗		滝川明子		金沢秀一		平野隆雄		計 6人	
	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	20	10	7	4	7	2	5	5	0	0	7	5	46	26
△ 努力が必要	5	10	1	3	3	3	13	10	4	1	5	6	31	33
▲ さらに努力が必要	0	5	0	1	0	5	0	3	2	5	3	4	5	23
計	25	25	8	8	10	10	18	18	6	6	15	15	82	82

[分野別の評価種類は、次のとおり省略しています。「取組」=取組の評価 「結果」=結果の評価]

●議員活動の目標(公約)

選挙公報による公約とともに、適正な議会・議員の役割を果たすために、前年の自己評価による反省点や課題などを翌年の議会・議員活動の目標(公約)として、平成19年から公表しています。

本年度は、10人(昨年は8名)の議員で、総数116項目(昨年122項目)となりました。なお、本年9月が改選期のため目標期間を4月から8月までとしています。【個人票はP21～P23に掲載しています。】

「議員」の評価結果（個人票）

評価の分類： ○＝「ほぼ満足」 △＝「努力が必要」 ▲＝「さらに努力が必要」
 評価期間：平成22年4月～平成23年3月

※各項目に4年間の総合的な評価を簡潔に記入しています。

川村 明雄 65歳

議会運営委員会副委員長、経済福祉常任委員、
 監査委員 議員歴3年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	住み続けたい魅力ある町づくりへの政策提言	○	○
	まちづくり基本条例を基本とした町民意識の向上対策	○	▲
	街づくりと景観等の整備、開発の推進	○	△
	人口減に併せた小さな自治体の郷土の建設を目標とした行政推進の模索と追究。		
財政	財政の健全化対策の推進	○	△
	徴税への意識向上と徴収業務対策への提言	○	▲
	各施設の収入維持対策の推進	△	△
	最小経費で最大の効果を目指した財政確立を図るための考慮が必要。		
経済	遊休農地の活用や農林業及び一村一品対策の推進	○	○
	漁業の振興対策及び付加価値対策の推進	△	▲
	各種施設の集客対策と経済波及対策	△	△
	第一次産業からの脱却的戦略と実践による明確な長期計画の確立を図りたい。		
福祉	高齢者の生きがいづくりによる生活活動の拡大と健康増進	○	△
	在宅介護支援と高齢社会への根本的対策追究と提案	△	▲
	少子化対策と子育て支援問題への対応	○	○
	長野県のようなびんびんころりに学ぶ健康自治体の確立模索と追究が肝要。		

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
教育	各分野での人材育成対策の推進	○	△
	子供や親、高齢者までの生涯学習充実対策	○	△
	児童生徒や青少年の健全育成への対策	○	○
	町独自の少子化対策の推進と幼児から児童、生徒までの教育環境の充実対策。		
その他	環境問題の研究考察等	○	○
	町内会活動及び団体活動への参画、推進	○	○
	文化活動への参画、ボランティア活動の推進	○	○
	町民生活相談及び要請事項等への対応	○	○
その他	冠婚葬祭の簡素化と負担軽減対策の提言	○	△
	議会基本条例に基づく活動と推進拡大	△	▲
	ホームページの活用による各種提案等の実施	○	△
	一家一品の創設及び地産地消の推進	○	○
その他	議選監査委員としての監査事務での公正な指摘や提案、提言	○	○
	一般質問や各種機会での未来のまちづくりのあるべき姿の提言等	○	△
開かれた議会の推進はあくまでも町民の幸せを願う為の基本的自治施策の追究にある。			

木村 隆 31歳

議会運営委員長、
 経済福祉常任委員会副委員長

議員歴4年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	4年間の最重要課題の検証（一般質問）	○	○
	東京農大との連携による方向性の明確化	△	▲
財政	重要課題（子育て応援特別手当問題、物品納入問題など）には一般質問などでメスは入れ問題を提起し、解決してきた。		
	21年度町単独の子育て支援に係る決算委員会での可否への取り組み	○	○
経済	過疎債や、特別交付税など、町財政に有利に働く仕組みや内容を、もう少し勉強しなければならない。		
	ブルーベリー事業（修正案に対する発言から農業委員会や農業者へのブルーベリー事業の本質の明確化と将来性の検証）	○	△
ナマコ事業、ブルーベリー事業は、せっかくの産業政策なのに、まったく方向性や事業の仕方が伴ってなく、修正案で問題点を改善した。			

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
教育	中学校の統廃合が行われた事による影響や検証	○	○
	中学校統廃合問題には、色々意見を言ってきた。統廃合はスタート。本格的に問題がでるのはこれからだと思う。注視していきたい。		
その他	開発計画がスタートしたことによる、提案型からチェック型への移行	○	○
	議員権威の向上	○	△
その他	町民に意識の変化を求める。	○	△
	議会は数の社会。その中でチャレンジと我慢の苦悩がもどかしく、なかなか議員姿勢が定まらなかった。ただ、これからの人間なので、たくさんの議会経験を基に、本格的な活躍をしていく糧としては、十二分な4年だった。		

杉村志朗 62歳

経済福祉常任委員長、
渡島西部広域事務組合議会議員 議員歴16年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	地元企業に対する支援	△	▲
	効率的事業の推進	○	△
財政	財政の健全化	○	△
経済	産業全体の後継者の支援	○	▲
	町民の理解を得る事業の確立	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	弱者、障害者、高齢者への側面支援	○	○
	各施設の充実	○	▲
	各町内会館の統廃合		
教育	特色のある教育の推進及び運営	○	▲
その他	月崎海岸整備事業の大型集客化	○	○
	コミュニティ（葬祭）の見直し	△	▲
	(1)葬祭の簡略化 (2)金額の見直し		
	町内会連合会の理解が必要		

滝川明子 69歳

総務教育常任委員長、議会運営委員 議員歴20年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	町づくり基本条例の活動推進		
	1. 管理職のマニフェスト作成は（6月会議一般質問）	△	△
	2. 新橋の名称を公募しては（9月会議一般質問）	△	△
財政	財政健全化対策		
	1. 子育て応援特別手当の支給停止について行政責任は（決算審査特別委員会）	△	▲
	2. 臨時職員の賃金を月額から月額に戻すべき（予算審査特別委員会）	△	△
経済	若者雇用の場づくり、定住対策		
	1. 官学連携の実効性について（予算審査特別委員会）	△	△
	2. ブルーベリー苗木購入事業に反対（3月会議討論）	△	▲
	3. 町として住宅改修に助成を（12月会議一般質問）	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	高齢者、障害者への支援体制強化		
	1. 介護保険事業の充実を（3月会議一般質問）	△	△
	2. 緊急通報機器の利活用を（予算審査特別委員会）	△	△
	3. 中学生までの医療費援助を（予算審査特別委員会）	△	▲
	4. 緊急医療情報キットの導入を（6月会議一般質問）	○	○
教育	5. デイサービスの充実を（決算審査特別委員会）	△	△
	生涯教育、社会教育、幼児教育の充実		
その他	1. 中学生に子宮頸がんワクチン接種の正しい性教育を（予算審査特別委員会）	△	△
	2. 小中学校に新聞を置くべき（決算審査特別委員会）	○	○
その他	議会基本条例に基づく活動の推進	○	○
	町内会を中心とするボランティア活動	○	○
	パソコンの基本学習	△	△
その他	無料生活相談活動	○	○

金沢秀一 68歳

副議長、経済福祉常任委員、議会運営委員、
広報・広聴常任委員長、渡島廃棄物処理広域連合議会議員 議員歴16年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	官僚支配を壊すために、議会は町民とともに戦うべきである（初志を忘れて言うべきことを言わなくなった）	▲	▲
財政	入るを量りて出ざるを為す	△	△
経済	養殖昆布の共同経営推進、衛生管理の徹底	△	▲
福祉	根本的に見直すべきものは見直す	▲	▲

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
教育	入学生が20名を切る可能性が大きい福島商業高等学校への対応（PRに努めたが、効果が今一だった）	△	▲
その他	地球温暖化の進行と災害の増大との関連を実態調査（未曾有の東日本大震災は想定できなかった。原発は50年前から危険を認識）	△	▲

平野 隆雄 62歳

議長・総務教育常任委員会委員・渡島西部広域事務組合議会議長
 長・渡島廃棄物処理広域連合議会議員 議員歴16年

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	結果
行政	町内景気の活性化、町産業の推進	△	▲
	環境汚染防止対策の推進	△	△
	議会基本条例の効果的展開	○	○
	行政に対する疲弊感があり、議会としても対応の努力が必要。		
財政	財政計画と自立プラン、総合開発計画の見直しと調整	▲	▲
	各施設の円滑な管理と効率的な運営について	○	△
	町に合った効果的な事業選択の必要性がある。さらなる努力が必要。		
経済	両記念館・温泉施設の集客促進について	△	△
	ナマコ塩水ウニ等ブランド化の促進について	▲	▲
	森林林業事業の推進について	△	△
集客施設についての総合的議論の不足、福島ブランド化の研究不足。			

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	結果
福祉	健康な町づくりの中の医療制度・医療の助成について	○	△
	予防医療対策は順調に進展している現状であると思われる。		
教育	少子高齢化の中の教育行政の見直しと計画について	▲	▲
	幼児教育の将来性について	△	△
	給食センターの効果的運営と管理について	○	○
その他	開かれた議会の推進と自らの学習	○	○
	政務調査費の効果的な活用	○	○
その他	情報の収集と議員研修への参加	○	○
	開かれた議会の議員として更なる努力が必要と考える。		

議員活動の目標（公約）（個人票）

目標期間：平成23年4月～8月

熊野 茂夫



川村 明雄



分野	具 体 的 な 目 標 項 目
行政	「まちづくり基本条例」の各分野における、活動推進
	行政情報透明性の推進
財政	財政健全化の取り組み（将来を見据えた予算編成、及び決算の検証）
経済	水産業、コンブ養殖等の養殖事業の安定化と発展
	農林業、実効性のある農業計画の提言
福祉	高齢者医療への提言
	在宅介護支援体制の整備
	公共施設の高齢者が利用しやすい施設への改修提言
教育	教育環境の再編と充実（中・高一環教育も視野に入れた）
	小・中学生の基礎学力の向上への提言
	社会教育、家庭教育向上のための教育行政への提言
その他	議員活動姿勢
	1. 町民個々の行政・議会への要求、要望の積極的収集活動
	2. 議会活動の積極的開示、報告
	3. 本会議及び常任委員会で「1」をふまえ行政への政策提言

分野	具 体 的 な 目 標 項 目
行政	住み続けたい魅力ある町づくりへの政策提言
	防災対策の推進
財政	財政の健全化対策の推進
	各施設の収入維持対策の推進
経済	新開設施設及び各種施設の利用拡大対策
	商工業及び漁業の振興対策への政策提言
福祉	少子化対策と子育て支援問題への対応
	高齢社会への根本的対策追究と提案
教育	生涯学習及び人材育成対策の推進
	児童生徒や青少年の健全育成対策の推進
その他	環境問題の研究考察等
	町内会活動及び団体活動への参画、推進
	文化活動への参画、ボランティア活動の推進
	町民生活相談等への対応
	冠婚葬祭の簡素化対策の提言
	議会基本条例及びまちづくり基本条例に基づく活動と推進
	ホームページの活用による各種提案等の実施
	一家一品の創設及び地産地消の推進
	議選監査委員としての監査事務での公正な指摘や提案、提言
	一般質問や各種機会での未来のまちづくりのあるべき姿の提言等

〔 木村 隆 〕



分野	具体的な目標項目
行政	震災時の今後の方向性や対応
	物品購入に対する問題点の明確化
	合併浄化槽事業が始まった事による問題点の提起
経済	月崎海岸プールのオープンによる問題点の提起
教育	新学習要領による生徒への影響や問題点の提起

〔 杉村 志朗 〕



分野	具体的な目標項目
行政	浄化槽事業の推進
	町独自の産業推進
財政	健全な財政分野の確立取組み
	施設管理の効率的運営
経済	若者による事業後継者支援
	地元企業への全面支援
	町内雇用の積極的支援
福祉	弱者、高齢者の支援
	高校生迄の医療費の無料化
教育	福島商業高校の存続
	小学校、中学校、高校教員の連携
その他	月崎海岸集客力の確立
	コミュニティー（葬祭）の見直し

〔 佐藤 孝男 〕



分野	具体的な目標項目
行政	農水産の推進（放流事業、養殖事業、果樹栽培振興）
財政	財政健全化への取り組み
経済	6次産業によるブランド化推進
	遊休農地の活用
	間伐材の再利用
福祉	健康づくりの推進（予防医療）
教育	学校給食、安全安心の食の提供
	地元産の食材の使用
	福島商業高等学校の存続
その他	町内会活動の参画
	ボランティア活動の推進
	各種行事への積極的な参加

〔 藤山 大 〕



分野	具体的な目標項目
行政	行政サービスのあり方の提言
	職員配置の適正化
財政	財政健全化への対応
経済	働く場への若者雇用の促進
	横網ビーチの観光活用による町内経済の活性化
福祉	高齢者にやさしい町づくり
教育	福島商業高等学校の存続
その他	保育料の見直し検討（引き下げる方向で）

〔 花 田 勇 〕



分野	具体的な目標項目
行政	町民主役の行政であるためには、議会はもっと多く町民との対話集会を開いてオープンに話し合い理解を広める事。
財政	人口減による地方交付税の削減などますます財政が苦しくなる中で、無駄を省き経費節減を行う必要がある。
経済	福島町は一次産業が活性化しなければ経済も良くならないと思う。その為にも養殖（ウニ・ナマコ・昆布）等に力を入れたい。
福祉	障害者施設の誘致、高齢者施設の充実 予防医療に対する支援等の充実を行っていききたい。
教育	小、中学校の学力向上のために何を成すべきか取り組んでいきたい。 北海道福島商業高等学校の存続のため努力する。
その他	各種ボランティア活動に対する行政の支援。 高齢者の集会場等の施設（場所）作りに取り組んでいきたい。

〔 滝 川 明 子 〕



分野	具体的な目標項目
行政	町づくり基本条例の活動推進 防災計画の見直しと防災体制の強化
財政	財政健全化推進
経済	住宅リフォーム助成で経済効果を目指す 若者雇用の場づくりを中心に定住対策
福祉	介護保険制度の適用改善 高齢者、障害者の支援体制強化
教育	中学生まで子供の医療費無料化 生涯教育、社会教育の充実 学校給食の食育及び適切なセンター改築
その他	議会基本条例に基づく活動の推進 町内会を中心としたボランティア活動を更に豊かに 無料生活相談活動を活発に

〔 金 沢 秀 一 〕



分野	具体的な目標項目
行政	災害に強い町づくりを提案 議員の地位向上を図る
経済	産卵に川を上るサクラマスのために、ダム改良を要望
教育	福島町の古い歴史を掘り起こして町外にPR
その他	志と能力のある若者たちが議員になれるよう、今までの選挙活動を改める。 ①選挙カーの遊説は費用が掛かり過ぎるのでしない。 ②候補者全員が参加する「合同・個人演説会」を開く、北竜町では以前から実施している。栗山町議会議員選挙でも今回初めて試みた。

〔 平 野 隆 雄 〕



分野	具体的な目標項目
行政	町内景気の活性化・町基盤産業の推進について 自然環境保全・汚染防止対策の推進について 議会基本条例の効果的展開について 広域行政の連携推進について 福島川改修工事の推進について
財政	行財政確立プラン・町総合計画の見直しと調整 各施設「会館・学校等」の円滑な管理と効率的な運営について
経済	両記念館・温泉施設等の活用・集客の促進について ナマコ・ウニ・ブルーベリー等ブランド化の推進について 町有林や森林林業事業の推進について
福祉	健康な町づくりにおける医療制度・医療の助成について 子供の医療費補助について
教育	少子化における教育行政の見直しと計画について 幼児教育の将来性について 給食センターの効果的運営と管理について
その他	機構再編について（グループ制の検証を含め） 政務調査費の効果的な活用 横綱ピーチの利活用の促進について 漁組・農協森林組合等への支援について